

I 就業の状況

1 就業者の推移

平成28年の就業看護職員総数は、33,454人で、その内訳は、保健師929人、助産師454人、看護師22,075人、准看護師9,996人となっています。前回調査の平成26年から就業看護職員総数は、357人(就業総数比:1.1%)増加し、10年前の平成18年と比較すると、約1.18倍になっていますが、2年間で就業数の増加は、前回調査までと比較すると、鈍化しています。また、就業保健師数、助産師数及び看護師数は、調査年毎に増加していますが、就業准看護師数は、平成14年をピークに減少傾向にあり、平成6年以来、22年振りに10,000人を下回っています(表1、図1)。

一方、平成28年の人口10万対就業看護職員数は、1,885.9人で全国平均1,187.7人と比較すると698.2人上回り、全国5位となっています(表1)。また、職種別内訳をみると、人口10万対就業保健師数52.4人(全国20位)、人口10万対就業看護師数1,244.4人(全国5位)、人口10万対就業准看護師数563.5人(全国4位)といずれも全国平均を上回りましたが、人口10万対就業助産師数は、25.6人(全国37位)で、全国平均を下回っています(表1)。

平成20年から公表している常勤換算による就業看護職員数は、平成28年は、31,524.2人で、前回調査から223.1人増加しています(表1)。

表1 就業看護職員数の推移

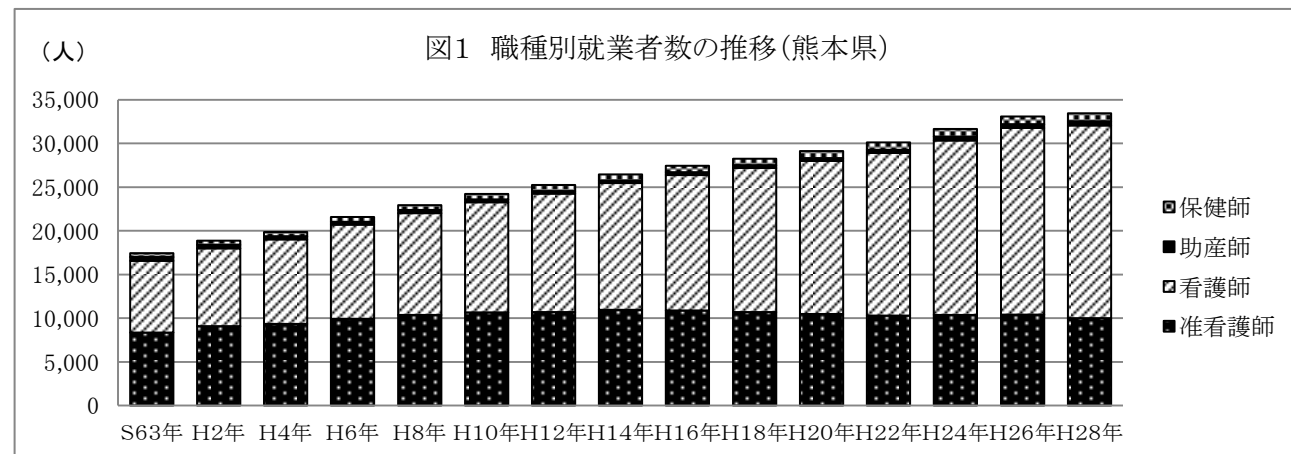
<単位:人>

職種 調査年	保健師		助産師	看護師		准看護師		合計		2年前からの 増加数	常勤換算 (注)
		男性再掲			男性再掲		男性再掲		男性再掲		
昭和63年	417		435	8,215	197	8,360	321	17,427	518		
平成2年	456		413	8,903	224	9,084	407	18,856	631	1,429	
平成4年	475		364	9,681	296	9,327	470	19,847	766	991	
平成6年	521		363	10,749	356	9,934	571	21,567	927	1,720	
平成8年	553	1	353	11,644	419	10,371	605	22,921	1,025	1,354	
平成10年	634		334	12,589	498	10,675	681	24,232	1,179	1,311	
平成12年	698	1	319	13,543	606	10,698	706	25,258	1,313	1,026	
平成14年	707		306	14,504	718	10,947	777	26,464	1,495	1,206	
平成16年	728		307	15,529	835	10,865	852	27,429	1,687	965	
平成18年	744	1	331	16,473	951	10,708	847	28,256	1,799	827	
平成20年	808	5	337	17,518	1,076	10,470	837	29,133	1,918	877	
平成22年	831	9	379	18,609	1,221	10,295	876	30,114	2,106	981	
平成24年	898	10	416	19,993	1,420	10,352	892	31,659	2,322	1,545	
平成26年	910	8	441	21,333	1,559	10,413	920	33,097	2,487	1,438	
平成28年	929	16	454	22,075	1,680	9,996	880	33,454	2,576	357	
	割合	2.8%	1.3%	66.0%		29.9%		100.0%			
	人口10万対 (全国順位)	52.4 (20位)	25.6 (37位)	1,244.4 (5位)		563.5 (4位)		1,885.9 (5位)			
(全国)平成28年	51,280		35,774	1,149,397		323,111		1,559,562			
	割合	3.3%	2.3%	73.7%		20.7%		100.0%			
	人口10万対	38.1	26.7	855.2		267.7		1,187.7			

※出典:厚生労働省衛生行政報告例、看護職員業務従事者届(調査日:調査年の12月31日)、

県統計調査課「推計人口調査(年報)」(調査日:平成28年10月1日)

注:常勤換算は、労働者の1週間当たりの労働時間をフルタイム労働者の1週間当たりの所定労働時間で除したものの。



2 場所別就業状況

平成28年の就業場所別の就業看護職員の実人数は、前回調査(平成26年)と同様、病院が60.1%と最も多く、次いで診療所18.9%、介護保険施設等11.1%となっています(表2)。

また、就業看護職員数の平成18年から平成28年までの10年間の増加率は、訪問看護ステーションが210%と最も高く、次いで社会福祉施設192%、介護保険施設等169%となっていますが、一方で事業所77%、診療所97%となり、平成18年より減少に転じています(表3)。

表2 平成28年の職種別就業場所別就業数

<単位:人>

就業場所 職種		病院	診療所	介護保険施設等	県又は市町村	ステーション 訪問看護	社会福祉施設	事業所	助産所	学校養成所 看護師等	その他	計
実人員	保健師	108	76	43	646	2	3	29	0	12	10	929
	助産師	261	129	0	7	0	0	0	31	25	1	454
	看護師	15,933	2,528	1,631	340	774	472	30	1	289	77	22,075
	准看護師	3,818	3,584	2,024	88	125	293	7	0	0	57	9,996
	総数	20,120	6,317	3,698	1,081	901	768	66	32	326	145	33,454
	割合(%)	60.1%	18.9%	11.1%	3.2%	2.7%	2.3%	0.2%	0.1%	1.0%	0.4%	100.0%
常勤換算	保健師	102.6	74.1	40.8	623.7	2.0	3.0	27.8	0.0	11.8	9.2	895.0
	助産師	251.3	118.6	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	26.0	24.4	1.0	425.8
	看護師	15,549.9	2,203.6	1,448.9	248.6	668.5	433.1	26.2	1.0	277.4	59.5	20,916.7
	准看護師	3,661.2	3,295.8	1,838.0	63.3	112.2	260.6	6.1	0.0	0.0	49.5	9,286.7
	総数	19,565.0	5,692.1	3,327.7	940.1	782.7	696.7	60.1	27.0	313.6	119.2	31,524.2
	割合(%)	62.1%	18.0%	10.5%	3.0%	2.5%	2.2%	0.2%	0.1%	1.0%	0.4%	100.0%
全国	実人員総数	986,325	259,532	149,683	49,239	46,977	26,140	9,175	2,106	18,854	11,531	1,559,562
	割合(%)	63.2%	16.6%	9.6%	3.2%	3.0%	1.7%	0.6%	0.1%	1.2%	0.8%	100.0%

※出典:厚生労働省衛生行政報告例、看護職員業務従事者届 (調査日:平成28年12月31日)

表3 就業場所別就業数の推移

<単位:人>

就業場所 調査年		病院	診療所	介護保険施設等	県又は市町村	ステーション 訪問看護	社会福祉施設	事業所	助産所	学校養成所 看護師等	その他	計
平成18年		17,278	6,491	2,187	884	429	399	86	31	268	203	28,256
	男性再掲	1,371	150	185	2	8	31	10	0	2	40	1,799
平成20年		18,159	6,426	2,311	930	446	338	55	30	274	164	29,133
	男性再掲	1,547	163	180	4	8	9	1	0	2	4	1,918
平成22年		18,653	6,454	2,405	988	532	528	89	26	284	155	30,114
	男性再掲	1,652	155	206	7	6	63	2	0	6	9	2,106
平成24年		19,381	6,394	2,954	1,036	571	649	213	28	311	122	31,659
	男性再掲	1,817	141	249	9	13	71	6	0	11	5	2,322
平成26年		20,015	6,361	3,450	1,073	800	774	106	33	326	159	33,097
	男性再掲	1,925	134	290	13	19	84	7	0	11	4	2,487
平成28年		20,120	6,317	3,698	1,081	901	768	66	32	326	145	33,454
	男性再掲	1,993	136	286	14	43	87	1	0	9	7	2,576
増加率(注)		116%	97%	169%	122%	210%	192%	77%	103%	122%	71%	118%

※出典:厚生労働省看護職員業務従事者届 (調査日:調査年の12月31日)

注:増加率は、平成28年就業数を平成18年就業数で除したもの。

3 職種別年次別就業状況

(1) 保健師

平成28年の就業保健師総数は、929人で、平成18年の介護保険法改正による地域包括支援センターの創設、平成20年の特定健診、特定保健指導制度の導入、地域包括ケアシステム構築等に向けた取り組みの推進などから、調査年毎に増加しています(表4)。また、就業場所別割合を全国と比較すると、熊本県では、保健所と事業所の割合が低くなっています(図2)。

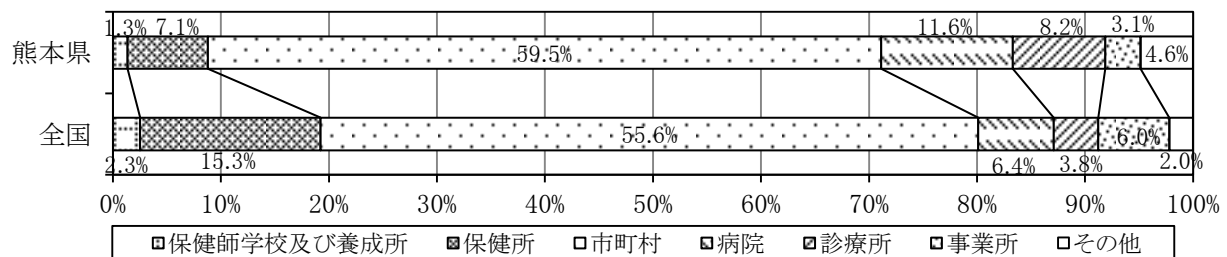
表4 就業場所別就業保健師数の推移

<単位:人>

就業場所 調査年	看護師 等学校 養成所	保健所	市町村	病院	診療所	事業所	介護保険 施設等	訪問看 護ステ ーション	社会福 祉施設	その他	計
平成18年	21	76	477	41	58	22	5	3	2	39	744
平成20年	15	76	514	48	70	31	4	2	3	45	808
平成22年	14	69	533	69	58	30	5	3	3	47	831
平成24年	22	67	555	80	61	81	7	2	5	18	898
平成26年	12	66	583	84	62	47	10	2	5	39	910
平成28年	12	66	553	108	76	29	43	2	3	37	929
常勤換算	11.8	64.5	532.4	102.6	74.1	27.8	40.8	2.0	3.0	36.0	895.0
(全国)平成28年	1,188	7,829	28,509	3,271	1,930	3,079	1,027	315	412	3,720	51,280

※出典:厚生労働省衛生行政報告例、看護職員業務従事者届(調査日:調査年の12月31日)

図2 全国との就業場所別割合の比較(平成28年)



(2) 助産師

平成28年の就業助産師総数は、454人で、調査年毎に増加しており、就業場所別では、病院及び診療所の就業数が平成20年以降調査年毎に増加しています(表5)。また、就業場所別割合を全国と比較すると、熊本県では、保健所、市町村及び病院の割合が低くなっています(図3)。

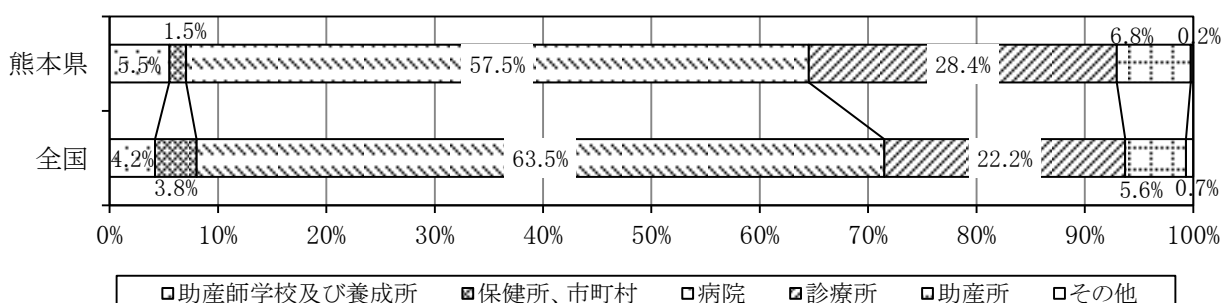
表5 就業場所別就業助産師数の推移

<単位:人>

就業場所 調査年	看護師 等学校 養成所	保健所 市町村	病院	診療所	助産所	その他	計
平成18年	16	4	206	74	31		331
平成20年	21	3	197	85	30	1	337
平成22年	17	7	224	105	26		379
平成24年	23	9	249	106	28	1	416
平成26年	28	10	257	111	33	2	441
平成28年	25	7	261	129	31	1	454
常勤換算	24.4	4.5	251.3	118.6	26.0	1.0	425.8
(全国)平成28年	1,501	1,368	22,707	7,956	2,004	238	35,774

※出典:厚生労働省衛生行政報告例、看護職員業務従事者届(調査日:調査年の12月31日)

図3 全国との就業場所別割合の比較(平成28年)



(3) 看護師

平成28年の就業看護師総数は、22,075人で、前回調査と比較すると、その他を除く全ての就業場所で、就業数が増加しています(表6)。また、就業場所別割合は、全国と同様の傾向となっています(図4)。

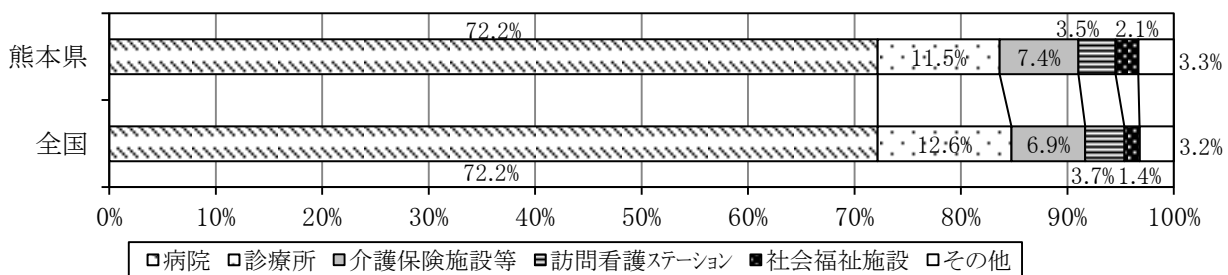
表6 就業場所別就業看護師数の推移

<単位:人>

就業場所 調査年	看護師 等学校 養成所	保健所	市町村	病院	診療所	介護保険 施設等	訪問看護 ステーション	社会福 祉施設	その他	合計
平成18年	231	25	221	12,456	1,962	858	390	207	123	16,473
平成20年	238	12	244	13,327	2,070	946	407	176	98	17,518
平成22年	253	23	267	13,947	2,249	980	466	306	118	18,609
平成24年	266	16	301	14,837	2,336	1,226	492	376	143	19,993
平成26年	285	12	311	15,599	2,421	1,459	698	432	116	21,333
平成28年	289	16	321	15,933	2,528	1,631	774	472	111	22,075
常勤換算	277.4	11.3	235.5	15,549.9	2,203.6	1,448.9	668.5	433.1	88.5	20,916.7
(全国)平成28年	16,120	1,105	7,154	829,488	144,522	79,663	42,245	16,399	12,701	1,149,397

※出典:厚生労働省衛生行政報告例、看護職員業務従事者届(調査日:調査年の12月31日)

図4 全国との就業場所別割合の比較(平成28年)



(4) 准看護師

平成28年の就業准看護師総数は、9,996人で、病院及び診療所では、調査年毎に減少していますが、一方で、介護保険施設等や訪問看護ステーションの就業数は、調査年毎に増加しています(表7)。また、就業場所別割合を全国と比較すると、病院と介護保険施設等の割合が低くなっています(図5)。

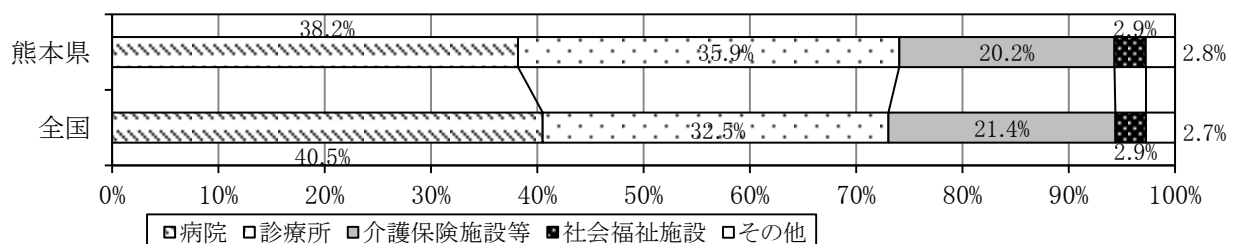
表7 就業場所別就業准看護師数の推移

<単位:人>

就業場所 調査年	保健所	市町村	病院	診療所	介護保険 施設等	訪問看護 ステーション	社会福 祉施設	その他	計
平成18年	—	81	4,575	4,397	1,324	36	190	105	10,708
平成20年	—	81	4,587	4,201	1,361	37	159	44	10,470
平成22年	1	88	4,413	4,042	1,420	63	219	49	10,295
平成24年	1	87	4,215	3,891	1,721	77	268	92	10,352
平成26年	—	91	4,075	3,767	1,981	99	337	63	10,413
平成28年	—	88	3,818	3,584	2,024	125	293	64	9,996
常勤換算	—	63.3	3,661.2	3,295.8	1,838.0	112.2	260.6	55.6	9,286.7
(全国)平成28年	68	1,115	130,859	105,124	68,993	4,411	9,309	3,232	323,111

※出典:厚生労働省衛生行政報告例、看護職員業務従事者届(調査日:調査年の12月31日)

図5 全国との就業場所別割合の比較(平成28年)



4 年齢別職種別就業状況

平成28年の年齢区分別割合では、40歳代が27.1%で最も多く、次いで50歳代が24.9%を占めています。また、10年前の平成18年と比較すると、平成28年では、50～59歳（5.6ポイント増加）、60歳以上（7.6ポイント増加）で就業数が増加しています（表8、図6）。

さらに、職種別の年齢構成の特徴は、就業保健師数が30～34歳、55～59歳をピークとするM字カーブ、就業助産師数は、35～39歳が最も多く、就業看護師数は、35～49歳をピークとする山型の傾向、就業准看護師数は、55～59歳が最も多くなっています（図7、図8）。

表8 年齢区分別職種別就業数

<単位:人>

職種 年齢区分	保健師		助産師		看護師		准看護師		計	
		割合		割合		割合		割合		割合
25歳未満	28	3.0%	29	6.4%	1,324	6.0%	257	2.6%	1,638	4.9%
25～29	104	11.2%	61	13.4%	2,403	10.9%	429	4.3%	2,997	8.9%
30～34	166	17.9%	54	11.9%	2,768	12.5%	807	8.1%	3,795	11.3%
35～39	142	15.3%	73	16.1%	3,136	14.2%	1,155	11.5%	4,506	13.5%
40～44	113	12.2%	65	14.3%	3,130	14.1%	1,178	11.8%	4,486	13.4%
45～49	105	11.3%	44	9.7%	3,033	13.7%	1,389	13.9%	4,571	13.7%
50～54	95	10.2%	39	8.6%	2,506	11.4%	1,505	15.0%	4,145	12.4%
55～59	124	13.3%	44	9.7%	2,211	10.0%	1,780	17.8%	4,159	12.5%
60～64	43	4.6%	31	6.8%	1,190	5.4%	1,032	10.3%	2,296	6.8%
65～69	8	0.9%	9	2.0%	301	1.4%	376	3.8%	694	2.1%
70～74	0	0.0%	3	0.7%	39	0.2%	66	0.7%	108	0.3%
75歳以上	1	0.1%	2	0.4%	34	0.2%	22	0.2%	59	0.2%
計	929	100.0%	454	100.0%	22,075	100.0%	9,996	100.0%	33,454	100.0%

※出典:厚生労働省看護職員業務従事者届（調査日:平成28年12月31日）

図6 平成18年と平成28年の就業看護職員の年齢構成の比較

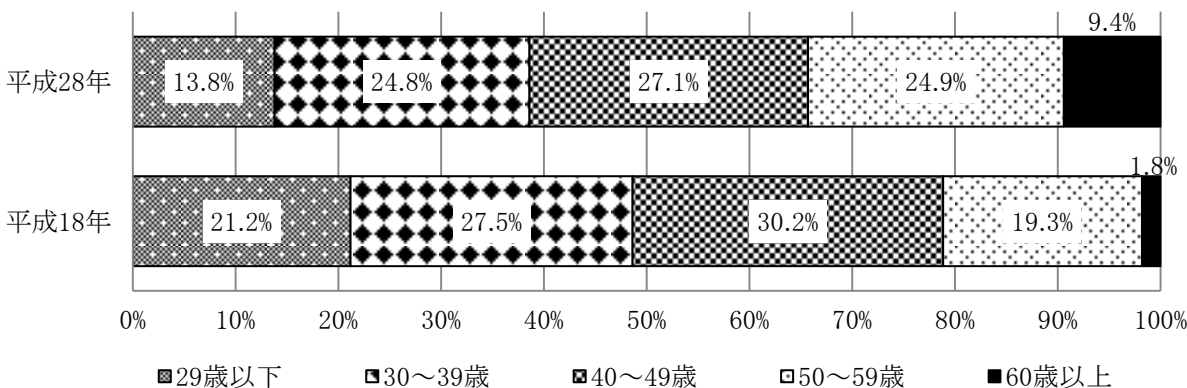


図7 就業保健師・就業助産師の年齢構成（平成28年）

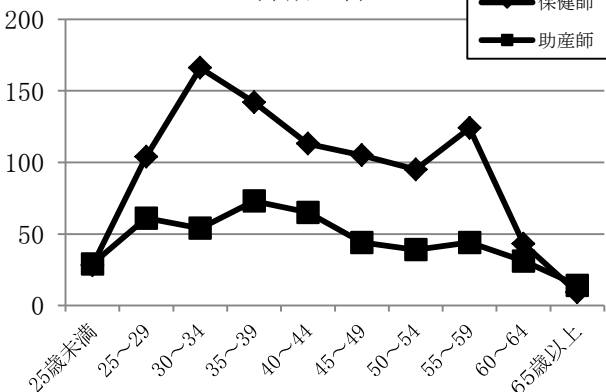
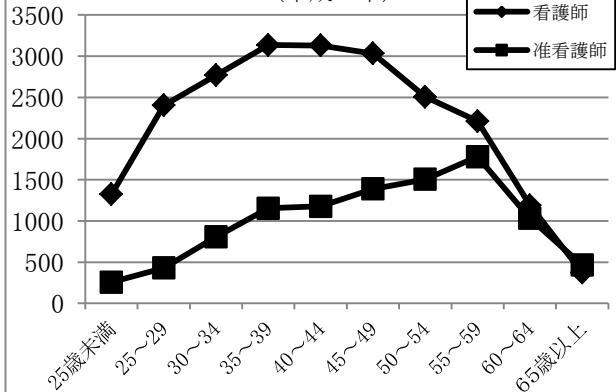


図8 就業看護師・就業准看護師の年齢構成（平成28年）



5 保健所管轄別就業状況

平成28年の保健所管轄別就業看護職員総数が最も多いのは、熊本市の15,913人(47.6%)で、次いで、菊池2,842人(8.5%)、有明2,522人(7.5%)の順となっています。一方、保健所管轄別就業看護職員総数が最も少ないのは、阿蘇の813人(2.4%)、次いで山鹿952人(2.8%)となっています(表9)。

また、平成28年熊本地震の被害が大きかった阿蘇、御船、宇城の就業看護職員数は、前回調査と比較し、いずれも減少しています(表9)。

表9 平成28年の二次保健医療圏別就業場所別職種別就業数

<単位:人>

保健所		有明	山鹿	菊池	阿蘇	御船	宇城	八代	水俣	人吉	天草	熊本市	計
保健師	就業場所												
	病院	4	6	7	0	0	3	7	1	6	5	69	108
	診療所	3	0	0	0	0	1	0	0	0	5	67	76
	訪問看護ステーション	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	介護保険施設等	0	0	1	1	1	1	3	0	2	2	32	43
	社会福祉施設	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	3
	県又は市町村	80	29	56	43	51	19	44	27	63	59	175	646
	事業所	3	1	9	0	1	1	0	0	0	0	14	29
	看護師等学校・養成所	4	0	0	0	0	0	1	0	0	2	5	12
	その他	0	0	5	0	0	0	0	0	0	4	1	10
	計	94	36	81	44	53	25	56	28	72	77	363	929
助産師	病院	2	9	2	8	0	0	14	7	8	13	198	261
	診療所	17	0	27	0	1	27	2	2	4	5	44	129
	助産所	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	29	31
	県又は市町村	1	0	1	0	0	0	2	0	1	0	2	7
	看護師等学校・養成所	6	0	0	0	0	0	0	0	0	1	18	25
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	計	26	9	31	8	1	28	18	9	13	19	292	454
看護師	病院	1,025	355	1,491	246	337	692	1,058	477	591	1,026	8,635	15,933
	診療所	262	41	203	48	65	131	146	85	53	157	1,337	2,528
	助産所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	訪問看護ステーション	79	13	98	14	49	26	65	29	27	29	345	774
	介護保険施設等	151	49	139	57	79	85	95	56	65	95	760	1,631
	社会福祉施設	22	9	39	16	14	8	26	142	16	76	104	472
	県又は市町村	50	21	24	4	21	2	32	8	21	31	126	340
	事業所	3	0	8	1	0	0	0	3	0	0	15	30
	看護師等学校・養成所	46	6	4	0	0	0	25	0	5	23	180	289
	その他	3	0	17	0	1	2	1	0	3	6	44	77
	計	1,641	494	2,023	386	566	946	1,448	800	781	1,443	11,547	22,075
准看護師	病院	239	137	274	142	222	224	273	133	302	303	1,569	3,818
	診療所	336	170	251	96	143	243	369	118	273	271	1,314	3,584
	訪問看護ステーション	2	0	15	6	13	5	27	4	18	4	31	125
	介護保険施設等	147	84	132	115	151	119	192	85	146	179	674	2,024
	社会福祉施設	20	17	21	11	14	11	8	36	23	63	69	293
	県又は市町村	14	5	8	3	3	1	4	3	10	16	21	88
	事業所	1	0	3	1	0	0	0	2	0	0	0	7
	その他	2	0	3	1	8	0	6	0	4	0	33	57
	計	761	413	707	375	554	603	879	381	776	836	3,711	9,996
合計		2,522	952	2,842	813	1,174	1,602	2,401	1,218	1,642	2,375	15,913	33,454
割合		7.5%	2.8%	8.5%	2.4%	3.5%	4.8%	7.2%	3.7%	4.9%	7.1%	47.6%	100.0%
平成26年合計		2,516	945	2,807	839	1,196	1,629	2,383	1,202	1,618	2,315	15,647	33,097
平成26年との比較(注)		6	7	35	▲ 26	▲ 22	▲ 27	18	16	24	60	266	357

※出典:厚生労働省看護職員業務従事者届 (調査日:平成28年12月31日)

注:平成26年との比較は、平成28年合計を平成26年合計で減じたもの。

6 病院病床100床当たりの就業看護職員数

平成28年の病院病床100床当たり就業看護職員数は、熊本県平均58.1人で、全国の63.2人を5.1人下回っています。保健所管轄別では、熊本市の67.5人が最も高く、阿蘇の40.8人が最も低くなっています(表10)。

また、病院病床100床当たりの就業看護職員数が前回調査より減少しているのは、阿蘇、御船及び天草となっています(図9)。

表10 病院病床100床当たり看護職員数(注1)

<単位:人>

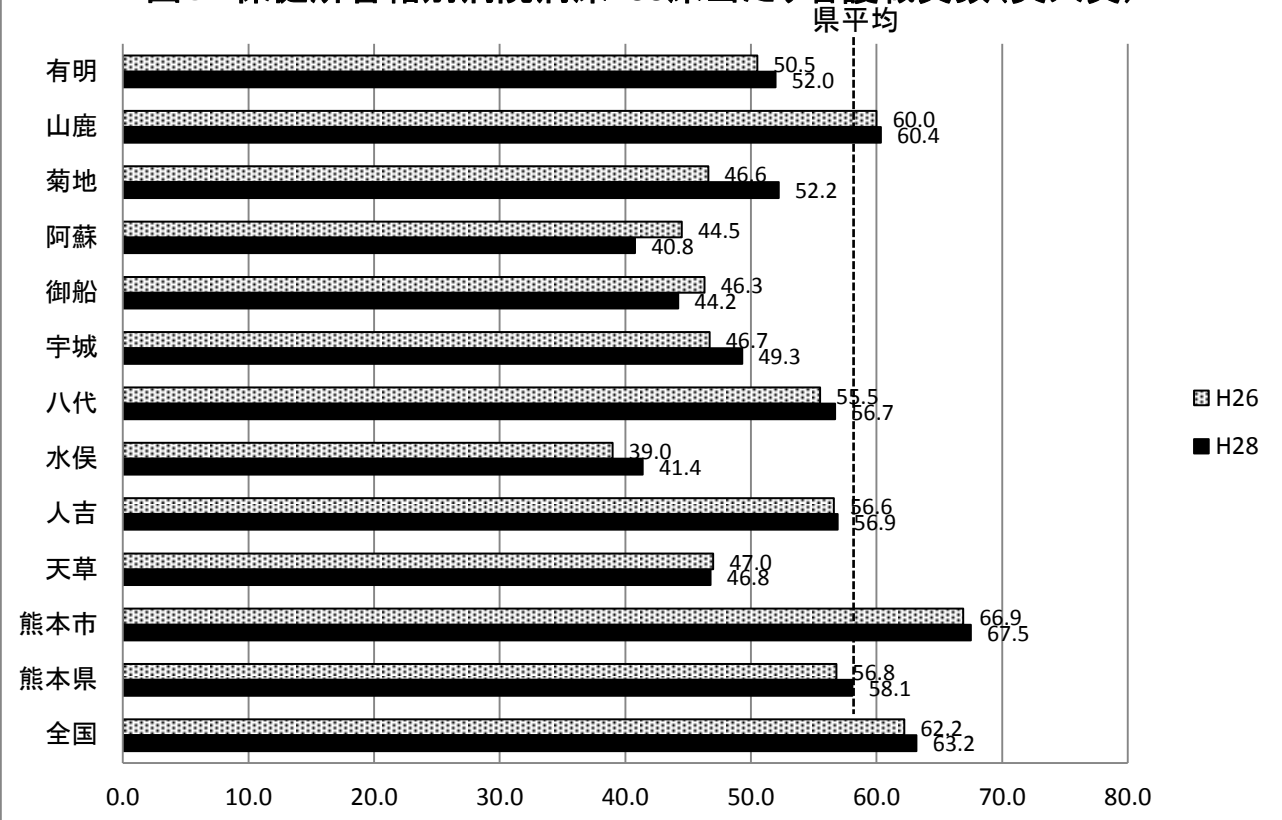
職種 圏域	保健師	助産師	看護師	准看護師	合計	病院病床数(総数) (平成29.4.1)
有明	0.2	0.1	41.9	9.8	52.0	2,444
山鹿	0.7	1.1	42.3	16.3	60.4	840
菊池	0.2	0.1	43.9	8.1	52.2	3,397
阿蘇	0.0	0.8	25.3	14.6	40.8	971
御船	0.0	0.0	26.7	17.6	44.2	1,264
宇城	0.2	0.0	37.1	12.0	49.3	1,864
八代	0.3	0.6	44.4	11.5	56.7	2,384
水俣	0.1	0.5	31.9	8.9	41.4	1,493
人吉	0.4	0.5	37.1	18.9	56.9	1,594
天草	0.2	0.5	35.6	10.5	46.8	2,878
熊本市	0.4	1.3	55.7	10.1	67.5	15,510
熊本県	0.3	0.8	46.0	11.0	58.1	34,639
常勤換算	0.3	0.7	44.9	10.6	56.5	
全国	0.2	1.5	53.1	8.4	63.2	(注2) 1,561,005
常勤換算	0.2	1.4	51.0	7.8	60.4	

※出典:厚生労働省看護職員業務従事者届(調査日:平成28年12月31日)、熊本県医療政策課調べ(調査日:平成29年4月1日)

注1:病院病床100床当たり看護職員数は、病院で働く看護職員数を病院病床数で除し、100を乗じたもの。

注2:全国の病床数は、平成28年病院報告(調査日:平成28年10月1日)による数値。

図9 保健所管轄別病院病床100床当たり看護職員数(実人員)



7 専門性の高い看護職員の状況

専門看護師等の専門性の高い看護職員の人数は、毎年増加しており、平成28年12月末現在で、専門看護師18人、認定看護師276人、認定看護管理者51人となっています(表11、図10)。

また、病床1,000床対の保健所管轄別人数には差が生じており、各種別の内訳をみると、専門看護師(注1)は、菊池、熊本市のみに就業、認定看護師(注2)は、最も多い人吉が11.29人、最も少ない御船が0.79人、認定看護管理者(注3)は、最も多い山鹿が7.14人、阿蘇及び水俣は0人となっています(表12)。

さらに、病床1,000床対人数は、全ての種別で、全国平均を下回っています(表12)。

表11 専門性の高い看護職員の推移

<単位:人>

調査年	専門看護師	認定看護師	認定看護管理者
平成19年	2	21	5
平成20年	4	39	6
平成21年	5	58	8
平成22年	5	84	9
平成23年	8	112	14
平成24年	10	152	21
平成25年	11	191	25
平成26年	15	208	31
平成27年	16	241	42
平成28年	18	276	51

※出典:日本看護協会、日本精神科看護協会(調査日:調査年の12月31日)

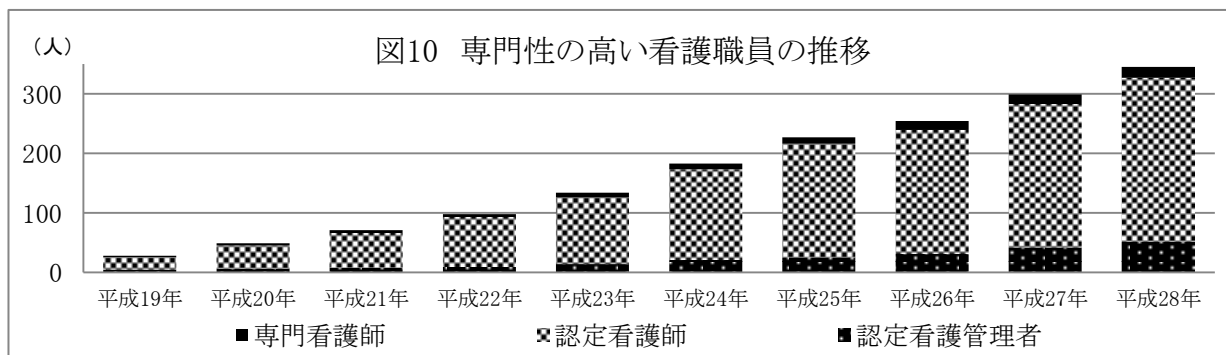


表12 保健所管轄別専門性の高い看護職員数

<単位:人>

保健所	専門看護師		認定看護師		認定看護管理者	
		病院病床1,000床対人数		病院病床1,000床対人数		病院病床1,000床対人数
有明	0	—	21	8.59	4	1.64
山鹿	0	—	6	7.14	6	7.14
菊池	1	0.29	8	2.36	3	0.88
阿蘇	0	—	2	2.06	0	—
御船	0	—	1	0.79	1	0.79
宇城	0	—	11	5.90	2	1.07
八代	0	—	19	7.97	1	0.42
水俣	0	—	8	5.36	0	—
人吉	0	—	18	11.29	1	0.63
天草	0	—	14	4.86	2	0.69
熊本市	17	1.10	156	10.06	27	1.74
不明	0	—	8	—	3	—
熊本県	18	0.52	272	7.85	50	1.44
全国	1,862	1.19	19,449	12.46	3,328	2.13

※出典:日本看護協会、日本精神科看護協会(調査日:平成29年11月30日)、熊本県医療政策課調べ(調査日:平成29年4月1日)

注1:専門看護師とは、看護師として5年以上の実践経験を持ち、看護系の大学院で修士課程を修了して必要な単位を取得した後に、公益社団法人日本看護協会の専門看護師認定審査(がん看護等13分野)に合格することで取得できる資格。

注2:認定看護師とは、看護師として5年以上の実践経験を持ち、日本看護協会が定める615時間以上の認定看護師教育を修め、公益社団法人日本看護協会の認定看護師認定審査(救急看護等21分野)に合格することで取得できる資格。

注3:認定看護管理者とは、看護師として5年以上の実践経験を持ち、日本看護協会が定める510時間の認定看護管理者教育を修め、公益社団法人日本看護協会の認定審査に合格することで取得できる資格。